

カツオが あがるまち

漁業のまち御前崎、カツオのまち御前崎
新鮮な生のカツオが水揚げされることで
全国に知られたまち

ここには長い歴史の中で培われてきた
カツオ文化がある

このまちに住んでいるからこそ
最高のカツオを食べることができる

活気に満ちた港の朝

5月13日の早朝、初夏の日差しを浴びながら1隻の中型カツオ船が、御前崎港へ入港した。三重県志摩市の志摩の国漁協に所属する第27源吉丸。今年に入り10回目の入港となるこの日は、前日、伊豆諸島南方沖で釣ったカツオ約4000匹、重さにして約8トを水揚げした。今日は、少ない方だよ。多いときは、1人で1日10000本釣るときだつてあるくらいだから」と乗組員の浜田泰章さんは、真っ黒に日焼けした顔で答えてくれた。

接岸した船体にベルトコンベヤーを近づけ、漁協関係者が定位置に着くと、次々に船倉から



豪快にカツオを釣り上げる



入港するカツオ船